

もしかしてそのあなた!!

本当は 石けんを使うのは環境のためで仕方ない

「石けんは最強」に汚れを落とすのよ!

先だって開催された「せっけん運動ネットワーク」の講演会で、漫画家の赤星たまこ氏が「最強の石けん生活」と題して講演されたのですが、オープニング第一声がこれ！
環境委員新人Yは正直「ぎゃ!」となり「心の中を見透かされた!」と思ったのだ(;'▽')

さらに「石けん少なすぎるのよ!」と。

実際、洗濯石けんに30云年前に出会ったときから「環境のため、負荷のかからないもの」として使ってきたので、汚れが落ちていないことも「仕方なきもの」と諦めていたというか、見ないようにしていたかも知れない。。。

「泡の中で初めて界面活性の力が発揮されて汚れが落ちるんだからね!」

嗚呼、もうわたしの脳みそは丸はだか(;'▽')

え? 泡の中で? 泡立ってるかなんて確認なんてしてないわ!

洗濯機任せだし、、、お風呂の残り湯入ってるんだし、、、石けんたくさん入れたら水汚すんじゃないの?

できるだけ少なくていいんじゃないの? ————— まだまだ怪しげなわたし。。。

え?! 足んのか!

泡の立っていない「白濁した石けん水」の中では「なにも起きていない」のだと!

「白濁した石けん水」は実は「石けんカス」なんだって! 嗚呼、びっくり。

つまり、泡の中だけに「界面活性の力」が存在し、油と水をはがしてくれる

「ミセル」が形成され、

汚れを抱きかかえて剥がされるのだ。

この泡があるから汚れが落ちるってことね!

「洗濯物を泡に包む」ってイメージね!

*液体せっけんの場合は泡が立ってなくてもパッケージの規定量でOK!



洗はく用

もしかして、わたしずっと石けんケチって少なく入れてたんじゃない? とりあえず「石けん」いれときゃ環境にいいでしょ? ごわごわしてもタオルが立つくらいでも、そんなにきれいになってなくてもどこかに「しょうがない」って思ってたかった?(Yのひとり言です)



いやーその通り! 長いことそう思ってたよ。せっけんの本当の使い方って実はしらなかったのかもー(;'▽')

* 石けんの量は多すぎても大丈夫。生分解されます!

* 洗濯物が水の中で泳ぐくらいの水量にする。

* ここで理解していて欲しいことは

「各家庭で、する人・時間帯・石けんの種類・洗濯機・水の硬さ・温度・洗濯の量・汚れの内容」など様々なことが「違う」と言うこと。一概に「〇〇分で〇〇グラム」とは言えないのです。

もちろん洗濯機の水量に対応した石けん量はその通り入れて大丈夫。

それでも各家庭によって違いがあるのでそこを確認してね!

なので、洗濯機任せにせず、泡の状態を確認するべし!

大きくとらえてほしいことは「石けんは泡の中で活躍する」という「働き」です。

どんな石けん(合成洗剤でも)を使ってもやり方・使い方が問題なのではなく

本来の目的「汚れを落とす」仕組みをしっかりとらえてお洗濯上手になりましょう♡
石けんがたりたかどうかは、洗い上がりをチェックしてね♡

洗浄力 = 汚れを落とす力



がないと、なんにもならない!

この話を聞いた後から洗濯時に「泡」を見届けることに!

すると、全然泡が立ってない! という事実を知ったのです(;'◇')

石けんが泡立っているのを確認して洗濯するようになってからは、今まで仕方ないと諦めていたタオルが真っ白! そしてリンスもしていないのにふわふわ♡そして室内干しの臭いもなし! もう目から鱗の「最強の洗濯術」を手に入れられてほくほくのYでした♪
におい残りや「カス」残りは、泡がない状態が犯人だったかも?